

発行所 〒160-0017
 東京都新宿区左門町11番地6の101
 一般社団法人 大学女性協会
 電話 03-3358-2882
 F A X 03-3358-2889
 http://www.jauw.org
 E-mail : jauw@jauw.org
 発行人 阿部 幸子
 編集責任者 端本 和子

J A U W

おもな記事

- 1面 会長挨拶、総会のご案内
- 2面～3面 国内奨学金贈呈式、国内奨学生選考経過と提出論文要旨
- 4面 事業紹介、奨学事業
- 5面 支部だより、文化交流委員会報告
- 6面 国連第3委員会に出席して、ほか
- 7面 IFUW イスタンブール総会のご案内、UWA 総会報告、ほか
- 8面 事業委員会主催企画(長崎旅行・新春のつどい)、自然科学講演会ほか

全国総会・定時会員総会ご案内

2013年度全国総会・第2回定時会員総会ご案内

早春の候皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
 さて2013年度全国総会が名古屋市で開催され、日程等は下記の通りです。皆様お誘い合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

1. 全国総会日程 (会場 名鉄グランドホテル他)

月日	会合	時間	会場	費用
5月18日 (土)	支部長会 懇親会	15:00～17:00 18:00～20:30	11F 柏の間	会費 7,000円
5月19日 (日)	総会 午前 定時会員総会 講演会 第67回国連総会 第3委員会に出席して 講演者 鷺見八重子 午後 報告及び懇談	9:00～16:00	11F 柏の間	総会費 3,000円 昼食 3,000円
5月20日 (月)	研修旅行:伊勢神宮(2013年は20年に1度の式年遷宮です。)	8:00～17:00 (名古屋駅)	伊勢神宮内外宮、「せんぐう館」	参加費 8,000円

*第2回定時会員総会開催通知は、議題を添えて4月23日頃お手元にお届けする予定です。

2. 宿泊 (ホテル)

ホテル名	住所・電話	ホテルへの行き方	宿泊費
名鉄グランドホテル	〒450-0002 名古屋市中村区名 駅1-2-4 Tel 052-582-2233	JR名古屋駅 桜通り 口、広小路口から名鉄百 貨店に沿って南(右)へ。 ホテル棟1階入口より 専用エレベーターで11 階受付へ(地下街からも 行けます。)	シングル 10,840円 ツイン 20,000円 (朝食つき、税金 込み)
名鉄ニューグランド ホテル	〒453-0015 名古屋市中村区椿 町6-9 Tel 052-452-5882	JR名古屋駅 太閤口 (新幹線側)、エスカ地下 街つき当たりを上がる。	シングル 8,900円 ツイン 16,400円 (朝食つき、税金 込み)

★ホテルの申し込み、変更、お支払いは各自ホテルへ直接お願いいたします。

★ご予約の際必ず大学女性協会とお伝え下さい。(割引となっております。)

3. 申込方法

① 申込書に必要事項を記入の上「支部提出用」は各支部へ提出。「個人控」が必要な方は、各自でご用意下さい。

各支部で出席者を取りまとめ「支部出席まとめ用紙」にご記入の上4月5日までに下記にお送り下さい。

〒470-1131 愛知県豊明市二村台4-16-4 寺田純子 「2013年度大学女性協会全国総会」係

Tel, Fax 0562-93-1759 eメール smkterada@xc5.so-net.ne.jp

②費用(総会費、懇親会費、昼食代、研修旅行代)は4月12日(金)までに、同封の振込用紙を用いてお振込下さい。通信欄に必ず、ご参加項目、支部名をご記入下さい。

振込先口座 記号00890 2 口座番号3587

加入者名 社団法人大学女性協会愛知支部

③総会、懇親会、研修旅行のキャンセルは4月30日(火)までとします。但し、総会費3,000円は日時に関係なく、返却できませんのでご了承下さい。

* ご不明の点は上記、寺田純子までお問い合わせ下さい。

一般社団法人大学女性協会 愛知支部 2013年度全国総会

実行委員長 林恭子

全国総会開催にあたって

会長 阿部 幸子

昨年4月に一般社団法人に移行して以来、私も新しい組織に対応した事業を軌道に乗せるべく努力を重ねてまいりました。この数年、各支部の活動が大変活発になってきておりますが、支部、本部が一体となって行う事業への取り組みも、少しずつ定着してきたようで、大変うれしく思っております。今年度の調査研究事業も支部との協働事業として意欲的に調査活動が進められておりますし、その他の事業も支部の皆様からのご意見もいただきながら、全国規模での事業展開が行われており、これからは、ますますこの方向で事業活動を活発にしていきたいと願っております。

さて、5月18、19日には、愛知支部のご協力を得て、2013年度全国総会を開催する運びとなり、その日程の中で、第2回定時会員総会、講演会、報告及び懇談を予定しております。定時会員総会には新定款に則った審議・報告となりますが、これについては改めて関係書類を添えて開催通知をお送りいたします。今回の総会では、昨年10月に国連総会第3委員会にご出席の鷺見八重子理事による特別講演を

計画しておりますが、ご参加の皆様には国連をな一層身近に感じていただける機会となることと思っております。また「報告及び懇談」では、委員会や支部活動等の報告を通して、会員相互の情報交換の場となることを期待しています。

支部長会・懇親会

研修旅行のご案内

愛知支部長 寺田 純子

このほか寒かった冬も終わりました。皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、第2回定時会員総会が名古屋で開催されます。それに伴い、ご案内にありますが、支部長会、懇親会、研修旅行などが総会前後に開かれます。支部長会では、新しい法人として、各支部が連携し、本部との関わりを密にして、より活発に活動するための方策が話されることでしょうか。

会員の皆様へお願い

4月23日頃「第2回定時会員総会開催通知」を正会員宛に発送いたします。開催通知には議案並びに、報告事項及び決議事項に関連する資料が同封されますのでご覧ください。定時会員総会は重要な総会ですので、正会員の皆様には万障お繰り合わせのうえ、ご出席をお願いいたします。欠席の場合は同封の出欠葉書裏面にある「議決権行使書」にご記入いただき、署名、捺印の上5月10日までに必ずご返送ください。

韓国、台湾等を含めてアジアで広く国際的に活躍している加藤いづみ愛知支部会員がオカリナについての私達の認識を新たにして下さいませ。

また、研修旅行には、伊勢神宮を選びました。今年度は20年に一度の遷宮を迎える記念すべき年です。持統天皇以来1300年以上にわたり連綿として、日本古来の心と技を次の代に伝えるために行われてきた歴史ある行事です。内宮・外宮はもちろん、昨年完成した「せんぐう館」や「おかげ横丁」も訪れ、遷宮の意味を感じていただけるものと思います。帰着は新幹線名古屋駅で、お帰りの便宜も図っております。皆様、この機会にぜひ、ご参加下さいませ。

ホテルへのアクセス





二〇一二年

国内奨学金贈呈式

二〇一三年一月十二日(土) 京王プラザホテル4F「扇の間」にて

選考と結果

第65回 一般奨学生 第22回 安井医学奨学生

国内奨学委員長 岡部 佳世

国内奨学委員会は例年通り募集を開始し、各支部の一次選考を通った一般奨学生27人・安井医学奨学生12人の書類が本選考にあがってきました。選考委員・アドバイザーの厳正な審査による奨学生候補者の選考・理事会の承認を経て、本日の贈呈式を迎えました。選考会での評価を一言ずつお伝えします。

ホームズ奨学生
・山田朋美さんの研究は、アイルランドで設立された聖コロンバン会のアジア認識を足掛かりに非大のアジア認識を検証するものです。欧米列強のアジア認識とは異なる視点からの研究で、ホームズ奨学生にふさわしいとされました。

一般奨学生
・上野未貴さんの研究は、Pictgentというアプリケーション開発です。絵の持つ情報を数量化して、ユーザーとコンピュータの会話を可能にするという創造性あふれた研究で、多方面での応用も期待できるものと評価されました。

・上原優子さんの研究は、長い歴史を持つ英国チャリティの会計・監査を研究することで、整備の立ち遅れている日本の非営利団体の会計および監査制度の適正なあり方を模索するものです。NGO団体としても見守りたい研究と評価されました。

・田部絢子さんの研究は、私立学校における特別支援教育の体制整備に関する実証的な研究です。田部さんご自身が現役の教師でもある、優れてフィールド的な研究です。成果を期待したい研究として選考されました。

・水谷千晶さんの研究は、自動車などの電源として注目されている固体高分子型燃料電池内部の温度の計測です。その計測に自作の熱電対を用いており、確かな技術を持った女性エンジニアとしての成長が期待されると評価されました。

安井医学奨学生

・宮部千恵さんの研究は、血管炎症候群の病態解明と新規治療法の開発です。血管炎症候群の発症の機序解析・治療薬の研究開発のために必要なヒトの病態を反映したモデルに、独自の病態モデルを用いて治療と作用機序を提案している点が高く評価されました。新規治療法の開発の期待も込めて選考されました。

今年度もまた女性として誇れる若い研究者を選考できましたことを、とてもうれしく思います。奨学生の皆様、おめでとうございます。

第41回 社会福祉奨学生

社会福祉委員長 縄田真紀子

今年度初め、国内奨学委員会とともに社会福祉奨学生候補者の推薦を、各支部長及び大学学長宛に願いました。今年度の応募者は、学部生6名でした。応募者の専攻分野は幅広く、加えて勉学・研究への意欲と情熱の素晴らしさには感銘しました。

10月27日、選考委員会を開催し、研究内容、人物評価、学業成績、将来への抱負、障害の状況等について厳正に審議し、次の学部生3名を選出、11月の通常理事会の承認を経て決定しました。

荒美有紀さんは、大学3年生の時重篤な病により視力と聴力を失われ、闘病と学業の両立を見事にこなして復学されました。今後の勉学のテーマとして、「日仏文学において障害者がどのように位置づけられているかについての考察」を取り上げられ、更に、日本における盲ろう者への理解や現状を改善していくための活動に携わりたいと希望されています。

高木智代さんは、幼い頃から数に親しみ、中学生の頃整数の分野に興味を持ち始め、大学では数学(専門分野 数論)を専攻されています。将来は、子供たちに数学の楽しさ、素晴らしさ、不思議さを伝えていきたいと勉学に励まれています。趣味はスポーツ、ゴルフボールでは国際大会に出場されました。

山ノ上奏さんは、障害科学を専攻。障害を巡る環境や社会・文化に関する課題の支援方法を総合的・学際的に学び、障害当事者視点を有する担い手として社会に貢献したい。又、将来は社会福祉士の資格を取得し、障害者と健常者がともに豊かに暮らせる共生社会の創造に携わっていきたくと述べられています。

奨学生の方々が、目標に向けて進まれ、これからの日本の担い手として活躍されることを期待します。

2012年度 JAUW 国内奨学生

I 一般奨学生 大学院生6名 (*ホームズ奨学生)

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
*山田 朋美	津田塾大学大学院	国際関係学	博士課程3年	第1ブロック	津田塾大学
上野 未貴	大阪府立大学大学院	工学	博士後期課程1年	大阪支部	大阪府立大学
上原 優子	青山学院大学大学院	会計プロフェッション	博士後期課程3年	第1ブロック	慶應義塾大学
田部 絢子	東京学芸大学大学院連合	学校教育学	博士課程3年	第1ブロック	女子栄養大学
水谷 千晶	九州大学大学院	水素エネルギーシステム	修士課程2年	福岡支部	九州大学
渡邊 恵	東京工業大学大学院	情報理工学	修士課程2年	第1ブロック	福島大学

II 社会福祉奨学生 学部生3名

氏名	大学	学部・専攻	学年	推薦	出身高校
荒美有紀	明治学院大学	文学部・フランス文学科	4年	第1ブロック	國学院大学附属栃木高等学校
高木智代	津田塾大学	学芸学部・数学科	3年	第1ブロック	筑波大学附属視覚特別支援学校高等部普通科
山ノ上 奏	筑波大学	人間学群・障害科学類	2年	茨城支部	筑波大学附属桐が丘特別支援学校高等部

III 安井医学奨学生 大学院生1名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
宮部 千恵	東京医科大学大学院	内科系	博士課程4年	第1ブロック	秋田大学

提出論文概要と将来の抱負

【一般奨学生】

聖コロンバン会のアジア認識

津田塾大学大学院 山田 朋美

私は、戦間期アイルランドにおける対アジア認識が、欧米列強のアジア認識とは異なっていたのではないかとという仮説の下、アイルランドで設立されたカトリックの宣教会である聖コロンバン会(SSC)のアジア認識を明らかにし、それを戦間期国際関係に位置付けることで、対外認識と国際政治構造の関連を明らかにする研究に取り組んでいます。これまでの欧米の対アジア認識研究は、主に英仏米等植民地を持つ大国を対象になされてきました。そして、

そのアジア認識は、一般に帝国主義と結びつき、「西洋」を「野蛮」と見下すものであったと言われています。しかし、SSCの母国アイルランドは、戦間期に民族自決を掲げイギリスから事実上の独立を獲得し、かつ欧米諸国では差別されていました。本研究では、このようなアイルランド人のアジア認識を取り上げることで、従来の「東洋」対「西洋」という二項対立的な認識枠組みの再検討を試みています。現在は、SSCメンバーの対アジア認識に、アイルランド人としての自己認識がどの程度反映されていたのか、そしてかつて支配し差別された経験が、彼らのアジア理解にどのような影響を与えたのかを検証しています。

将来は研究を重ね、その成果をアカデミズム内外に広く発信していきたいと思っています。対外認識の形成過程を明らかにすることで、権力政治に囚われることのない国際交流に貢献していきたいと考えております。

絵情報共有型会話エージェン トPictgent ―絵を用いた新たなコミュニ ケーションの創造―

大阪府立大学大学院 上野 未貴

人とコンピュータ間で対話ができるシステムを創りたい。創ることで副次的に人の「心」を表す要素を知りたい。これは工学分野における重要課題であり、私の研究動機です。

言語や絵、仕草など「対話」の道具は様々ですが、私は中でも「絵」に着目しています。絵を見て想起する内容は人により異なります。このような個性や感性といった工学で扱うことが困難とされる多義性を有した情報のモデル化に重きをおくことで、人らしい対話の実現を目指します。

そこで私は、絵の情報を工学で定量的に表す方法を考え、この絵を用いてユーザーとシステム間の共通認識を策定して対話するシステム「絵情報共有型会話エージェンTPictgent」を提案し、理論・アプリケーション開発・フィールドワークと多角的に研究に従事しております。さらに、入力文から絵を自動生成するなど、言語と絵を使った新たなコミュニケーション形態の創造を進めています。

私の研究生活は、研究や学会発表はもちろん、子供たちに科学の面白さを伝える理系女子院生チームIRISや、他学科のドクターたちと研究の議論をする異分野融合研究会に所属し、研究を通した多くの人々との出会いで成り立っています。自ら創ったシステムを世に出し、アイデア一つで想いを形にできるコンピュータの創造的な楽しさを伝え、人々が情報技術の恩恵を享受できる場の構築の一助を担う研究者となるべく、今後も研鑽を続けます。

英国チャリティの会計と監査

青山学院大学大学院 上原 優子

わが国の非営利部門の会計および監査制度は他の先進国に比して整備が遅れており、早急にあるべきフレームワークが構築されることが望まれる。設立根拠法の違いにより会計・監査の扱いはまちまちとなっており、会計基準の統一化に向けた研究が行われている状況にある。

英国のチャリティではさまざまな活動・規模・形態があるにも関わらず統一した会計基準が導入され、監査においても統一した基準が採用されている。背景の異なる英国の事例をわが国にそのまま導入することは困難であるが、洗練された英国の事例を参



考にわが国の会計および監査制度の適正なあり方を模索することは非常に重要である。チャリティの現状、歴史および制度のあり方を明らかにした上で、わが国の民間非営利法人における会計および監査のあり方を模索する上でそれらが示唆するところをまとめることが本研究の目的である。

適切な会計および監査の制度が構築されることは、組織が健全に発展する上で不可欠である。近年、非営利組織に対する関心は非常に高まり、また社会的企業など営利と非営利の両方の側面を融合する形で社会に貢献する組織も出現している。これら社会貢献型の組織の発展に向けて、どのような会計や監査の制度が構築されるべきであるかは今後の課題である。会計および監査を専門とする者として、今後はこれらの新しい組織が発展する助力となるよう研究を進めたいと考えている。

私立学校における特別支援教育の体制整備に関する実証的研究

「幼小中高一貫」したシステム開発の視点から

東京学芸大学大学院連合
田部 絢子

特別支援教育をわが国の基礎的な教育支援とするためには、公教育の一端を担う私立学校においても特別支援教育の体制整備をはかることは早急の課題であり、とくに説明が立ち遅れている私立学校の特別支援教育の実態を明らかにすることは不可欠である。それゆえに本研究では、私立学校(幼小中高)に在籍する特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の教育実態や特別支援教育の体制整備の現状を実証的に解明し、私立学校に適合した幼小中高一貫の体系的な特別支援教育システムの開発に向けた諸課題を検討した。

具体的には、①全国の私立学校(幼小中高)の管理職および養護教諭対象の悉皆・抽出調査を通して、私立学校に在籍する発達障害等の特別な配慮を要する生徒の教育実態と特別支援教育体制整備の課題の解明、②全国の私立学校(幼小中高)の学校法人理事会および私立学校協会対象の悉皆調査を通して、私立学校に在籍する発達障害等の特別な配慮を要する生徒に対する一貫的体系的支援の実施状況と課題の解明、③発達障害の本人・保護者への調査を通して、本人・保護者からみた私立学校の特別支援教育の実態とニーズを明らかにし、博士論文としてまとめ、2012年12月に東京学芸大学大学院連合学校教育研究科に提出した。

なお筆者は現在、私立女子中学・高校の専任教諭として教育実践を行いながら博士課程に在学し、研究成果を教育現場や社会に広く還元できる研究者を目指して研鑽中である。

アレイ配列極細熱電対群による固体高分子型燃料電池内部の発熱挙動

九州大学大学院
水谷 千晶

自動車やコージェネレーション向けの次世代の電源として注目されている固体高分子型燃料電池のコストのうち、熱や水分の管理に必要な補機類にかかるものが大部分を占めている。これらの補機類の簡素化や効率的な発電するための運転条件の指針を明確にするには、電池内部に分布する水・熱の挙動の詳細を把握する必要がある。そのためには、水・熱の挙動に強い影響を与える温度を計測することが必要不可欠となる。本研究では、燃料電池内で3次元温度計測を行うために独自の形状の熱電対を製作し電池内部に挿入し運転することで得られた温度分布から、内部の水の挙動を分析している。

本研究では燃料電池内に温度センサを挿入することで、対象となる電池の性能が低下するのを防ぐため、直径50μmの極細線を用いて熱電対を自作している。

熱電対は異なる2種類の金属を溶接することで製作できる。形状を工夫し計測点の位置決めには±0.5mmという高精度が実現した。

溶接した熱電対を電池内に挿入するには、電気的に絶縁する必要があるため、高分子膜を熱電対の表面に焼き付ける。この溶接作業・絶縁被膜の作業が熱電対の強度や計測の可否に大きく影響するため、これらの工程を最適化することにも、研究上重点を置いている。

現在は同じ専攻内で進学を考えている。博士号を取得後は、研究生活で培った経験と知識を生かして、将来は一人のエンジニアとしてモノづくりの研究開発に携わりたい。

アジア高山域の山岳氷河融解による水資源影響評価に向けた全球統合水資源モデル構築

東京工業大学大学院
渡 邊 恵

アジア高山域の山岳氷河群には中緯度地域で最も多くの陸水が貯蔵されており、チベット高原とヒマラヤ山脈を起源とする水資源は下流域における約14億人の人口を支えています。しかしながら、山岳氷河融解に加え、地下水の過剰取水や将来の人口増加と気候変化に起因する乾燥化の予測も相まって、アジアにおける水資源逼迫が懸念されています。したがって、氷河質量変化の正しい推定と氷河融

解が水資源に及ぼす影響評価が喫緊の課題となっています。水河質量変化に関する観測値は極めて限られているため、本研究では、数値シミュレーションを行うことにより、水河質量変化と融解水の河川流量への寄与率等の算定を行います。大枠としては、世界に先駆けて開発された全球氷河モデルの改良、さらに全球水資源モデルとの結合を目指します。現在は、衛星レーダデータの利用し、氷河モデルのインプットである降水量データの改良に取り組んでいます。

水河融解量を水資源評価に応用する研究は近年始まったばかりであり、融解量の算定から水資源への寄与までの一連の現象を精度良く表現するという点で、研究の意義が高いと言えます。また、氷河融解の水資源への寄与を定量的に示すことは、この地域の持続可能な水利用の将来展望を示すために必要不可欠な情報です。

今後は博士課程に進学し、知識・見聞を広め、持続可能な社会の実現のために、社会の意思決定に役立つ情報を発信できる研究者を目指したいです。

【社会福祉奨学生】日仏の文学における障害者の位置づけについての研究および今後の抱負

明治学院大学
荒 美有紀

私は、まったく目が見えず耳が聞こえない。大学入学時には普通に見えて聞こえる健康な大学生であった。3年時の終わり、急激に脳腫瘍が悪化し失聴、盲目となった。その世界を想像してみても、無音の真つ暗闇の世界である。とても残念でくやしかったが、1年間の休学の後、たくさんの方々のご理解とご支援をうけ、今年度から復学することができた。

そんな中、文学部仏文科の私がこれからの勉学のテーマとして位置づけることは、日仏文学の中で障害者などのように位置づけられ描かれているかを考察することである。国によって、思想のベースとなる『宗教』が違ふ。おのずと文学に現れる『倫理観』も違ってくる。それらを比較し考察することで両国の根底にある思想の相違点を明確にしたい。

そして人生半ばで重い障害を負ったわたしにも夢がある。目と耳に重複した障害をもつ者を『盲ろう者』という。現在、日本における盲ろうの大学生は私を含めたたった2人である。盲ろうの大卒者も私の卒業でやっと5人になる。これは東京都だけでも約4千人の盲ろう者がいるのに対してその進学率がとても低いことを感じさせる。今後私は、この厳しい現状を何とか改善していく事ができればと思っています。アメリカではすでに『ヘレンケラーセンター』という

専門の施設もあるが、日本ではまだその理解も訓練も遅れている。諸外国ではこの盲ろうというハンデイに対してどのような支援や訓練をしているのか、心理的フォローはどうあるべきか日本における『盲ろう者』への理解や現状を改善していくための活動にたずさわりたいと思っている。

数論と数学の楽しさ

津田塾大学
高木 智代

私の専門分野は数論である。私たちがまず最初に出会う数が自然数であり、その自然数の素となつていくのが素数である。整数には様々な美しい定理があるが、それだけでなく、暗号に代表されるような色々な形で、日常生活にも応用されている。

私が特に興味を持っているのが割り算の商と余りの性質である。ある数で割った余りが等しい数を1グループと考えたり、余りを求める操作を繰り返すことで、無理数の有理数による近似にまで発展させることができる。

私は幼い頃から積み木や数に親しんできた。その後、数や図形の性質について考えるようになり、大学ではさらに数学の奥深さに触れることができた。私は将来、この数学の楽しさ、素晴らしさを子どもたちに伝えたいと考えている。今世間では数学離れが指摘されている。その原因の1つは、小学校で算数を教える教員が数学嫌いであることだと私は思っている。つまり、教師が数学の楽しさ、本質の素晴らしさを知らず、子どもたちに伝えられていないのではないだろうか。私は、1人でも多くの子どもたちに、数学の本質を教え、自ら考え発見する力を身につけさせ、数学の面白さを伝えていきたい。そのためには、さらに数学を深く学び、私自身がそれらを知る必要がある。自分のため、そしていつか数学に興味を持つてくれる子どもたちのために、この数論の分野を深めたい。

私が目指す社会貢献のあり方について

筑波大学
山ノ上 奏

私は将来、障害当事者の視点を有する担い手として、社会に貢献したいと思っています。大学で自分の障害と関連する分野である障害科学という学問を選んだきっかけは、自分自身の障害や他の障害、それらの問題を抱える人々を取り巻く環境について学びたいと考えたからです。現在、私が学んでいる筑波大学人間障害科学類は、障害をめぐる環境や社会、文化に関する課題の支援方法を教育、心理、福祉、医療等の分野から総合的かつ学際的に学び、障害に

とどまることなく、人間を理解し探求することで、全ての人がともに生きる社会の創造に貢献できる人材の育成を目的としています。ここで私は、自身の運動障害(肢体不自由)だけでなく、視覚、聴覚、知的、発達障害などの様々な障害について幅広く学んでいます。今後は障害についての知識をさらに深めるとともに、興味のある分野に焦点をあてて探求したいと思っています。

また、社会福祉士の国家資格を取るために、社会福祉の歴史や制度についても学んでいます。将来は、社会福祉士として困難や悩みを抱えている人々の相談にきちんと向き合い、問題のより良い解決策を多方面から導き出すことのできる人になりたいです。障害者が健常者とともに豊かに暮らせる共生社会の創造や、援助を必要としている人々がより豊かな生活を営むための支援に取り組んでいきたいと考えています。

【安井医学奨学生】血管炎症候群の病態解明と新規治療法の開発

東京医科大学大学院
宮部 千恵

血管炎症候群は自己免疫疾患の一群であり、血管のみならず中枢神経、肺、腎臓など致死的な臓器障害を伴う全身の慢性炎症性疾患である。既存の治療に抵抗を示す症例も多く、易感染性等の副作用が問題となつている。そのため安全に投与でき、比較的安全な低分子化合物による新規治療法の開発が求められている。一方、合成レチノイドであるAm80は、レチノイドの中でも安定性が高く、副作用の少ない薬剤として、急性前骨髄性白血病の治療に用いられている。レチノイドは細胞分化、増殖、形態形成などに作用するが、近年免疫調節作用により炎症性疾患の新規治療薬となる可能性が着目されている。申請者は、Am80が、MAPKシグナルを制御することでマウスの体内での好中球の血管壁への遊走を抑制し、炎症局所では好中球からの活性酸素・エラスターゼの放出を抑制することを明らかにした。また、Candida albicans water insoluble fraction (CAWS) 投与によるマウス血管炎モデルにおいて、Am80は著明な血管炎治療効果をもたらすことを見出した。

大学院卒業後は米国への研究留学を希望しており、血管炎を中心とした炎症性疾患の研究をさらに前進させたいと考えている。様々な未解決の問題を抱えるこれらの疾患群の診療に変革をもたらすような成果を上げ、一人でも多くの患者が救われるよう力を尽くしていきたい。

事業紹介

奨学事業

阿部幸子

大学女性協会が公益目的事業計画に則って展開している4つの公益目的事業(継続事業)のうち、事業1(調査研究等)、3(国際支援)、4(国際ネットワーク)の事業内容については前号までに掲載しましたが、本号では残る1つ、事業2の奨学事業について紹介します。

この奨学事業は、協会の設立当初から形を変えつつ実施されてきたもの、基金のご寄付に基づいて始められたものなどがありますが、現在は、一般奨学生、安井医学奨学生、社会福祉奨学生への奨学金の授与、守田科学研究奨励賞の贈呈が行われており、加えて東日本大震災で保護者を失った高校生への奨学金の給付が

この事業2の1つとして実施されています。

2011年3月11日の東日本大震災の直後に、当法人では災害地支援のための支援金(一時金)を宮城県共同募金会に寄付しましたが、同時に募金活動を開始し、特設委員会を設けて数年間にわたる被災高校生の教育支援事業を立ち上げました。募金や寄付により集められた基金は、一般社団法人への移行後は公益目的財産に繰り入れられるため、この基金に特定資産を加え、公益目的事業として計画的に実施することになりました。従って、他の奨学金とは異なり、17年間の公益目的実施期間にはかかわりなく、期間限定の事業です。

国内奨学委員会

委員長 岡部佳世

国内奨学事業の母体となる奨学金制度が設定されたのは大学女性協会(旧大学婦人協会)発足翌年の1947年のことです。さらに1952年には協会生みの親でもあるルル・ホームズ氏からの寄付を基金としたホームズ奨学金規定が作成されました*。その後、社会福祉奨学金、医師安井潤氏の遺族による寄付を基とする安井医学奨学金が設けられ、本事業は協会の基幹事業としてその一翼を担っています。本年度の奨学生を加えるとすでに1,100名を超える奨学生を輩出しており、文字通り歩みを止めることなく女子学生・大学院生の研究を支援してきた実績には誇るべきものがあります。

国内奨学生(一般・社会福祉・安井医学)の募集は毎年6月に開始されます。支部による一次選考・本部での二次選考・理事会での承認を経て決定した奨学生は、「新春のつどい」第一部の贈呈式において会員のエールとともに奨学金を授与されます。

国内奨学委員会は現在16名の息の合ったチームワークでこの責任ある作業を厳正かつ適切に運営しています。従来の応募書類の郵送もネットからのダウンロード形式に改めるなどの改良も行いました。これからは男女共同参画社会で働く女性として歩む奨学生の今後も含めて応援してゆくことも、国内奨学事業の仕事の一部になるような気がしています。

* 会報213号「ルル・ホームズ女史のこと」中村ミチコ

社会福祉委員会

委員長 縄田真紀子

社会福祉委員会の役割は、「福祉に関する調査研究を行いその増進を図り、併せて社会福祉奨学金に関する事項を行う」です。

上記のうち、「社会福祉奨学金に関する事項を行う」では、社会福祉奨学生の募集、選考及び奨学金贈呈式の開催のほか、奨学生に関連する事項を担当しています。

社会福祉奨学金は1971年に設立されました。初期には障害に関する研究も対象に加えられていましたが、現在は文部科学省が認める大学の学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障害があり、かつ学業人物ともに優秀な学生に奨学金を贈呈し支援をしています。2012年度で41回目を迎え、その受賞者は154名に達しています。

2012年度社会福祉奨学生は、学部生3名でした。新春のつどいにおいて奨学金贈呈式を開催、奨学生のスピーチでは、「幾多の困難を乗り越え研鑽を積み、将来はその成果をもって社会に貢献したい」と、明るく力強い抱負が述べられ、参加者一同感動とエネルギーをいただきました。

今後も社会福祉奨学金の充実を図り、奨学生の勉学・研究を応援し、併せて奨学生との交流を進めていきたいと思えます。

科学研究奨励委員会

委員長 今野美智子

守田科学研究奨励賞は、1998年に化学教育者・故守田純子氏から寄贈された資金を基に創設されました。当時、大学・研究所に就く女性研究者にとり昇格が困難なことを勘案し、40歳未満の女性研究者を対象として、「自然科学を専門とする女性研究者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を後押し、育成する」ことを目的としました。女性研究者の環境は、改善されつつありますが、現在でも厳しく、後押し、育成に役立つことを願っています。「自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される」女性科学者を、毎年2名選んでおります。本年度は、15回目を迎え、2012年度までに28名の受賞者をだしましたが、その後、昇格、転進など多くみられ嬉しく思っています。日本は、若年層の割合が急激に減少し、20代の若者は、第2次ベビーブームの60%まで減っており、日本が産業立国として維持するために、科学分野への女性の増加と活躍が望まれており、この賞が少しでも役立つことを願っています。委員会は、また自然科学講演会を毎年開催し、一般の方、大学生、高校生を対象に最先端の科学を分かりやすく説明し、自然科学への興味が広がるように努めています。

東日本大震災災害地支援事業(高校生奨学金)

特設委員長 高田武子

昨年度に引き続き本年度も奨学生を募集し、高校3年生2名(仙台市立、宮城県立)と1年生2名(各宮城県立)を決定し、昨年度からの5名と合わせて9名の支援を行っている。

当初、初年度は各学年で2名ずつ6名を募集し、その後は毎年新1年生を2名ずつ、2年間募集し、17年度で奨学金(500万円の予定)の終了を計画していましたが、これまで会員の皆様を始め、IFUW会員から、また他団体や個人の方々からのご厚意を受けて、当初の想定を上回るご寄付があり、募集年度を1~2年度延長するか、または募集人数を増やしていくかの検討を、特設委員会で考えたいと思っています。

大震災が発生し、未曾有の被害を経験し、3年目を迎える今、東北の復興・再生の力強く明るい兆しを十分に感じられないでいる昨今の状態に、大変心痛めていらっしゃる会員の皆様も多いことと思います。

そんな中、今年も会員や個人団体の皆様からのご寄付に加えて、イギリス、スイス、南アフリカ、スコットランドのIFUW会員の個人、団体から送金を受け、東日本大震災が、世界の方々からも忘れられていないことに、大変感激しています。

今後も、一人でも多くの「高校生の未来への夢の一步」を支援することが出来ますよう、皆様のご支援をいただきますよう、今後も支援金へのご協力を心からお願い申し上げます。

国内奨学金贈呈式



2013.1.12京王プラザホテル「扇の間」にて

支部だより

「楽しさ全開」

茨城支部長 今 高 博 子

茨城支部は会員48名。詳しい活動内容はホームページをご覧下さい。昨年度研修した「伝わる」情報発信力の成果の下、更新管理をしています。しかし、「伝わる」発信力を高める中、参加者の固定化はいつも悩みました。一人ひとりの会員結集を高める工夫にはやはり意識して声かけが必要です。今年度は参加者増員のために会員の職業・技能に着目、定例会に会員の特技を生かしてもらいました。はじめに「お茶の知られざる世界」として、お茶と人間との係わりや香りの研究の草分け的存在である会員から講話を聞きまし

た。その後、お茶シリーズとして紅茶・中国茶・煎茶と世界を巡って、作法や美味しい飲み方等体感しました。この間、会員が3名増え、まさにお茶の楽しい語らいの効用でしょうか。又、茨城支部では2007年度から「先輩に学ぶ、仲間に学ぶ、楽しく学び合う、上質の情報がある」というコンセプトでアーカイブス、MYWAYとして先輩会員の記録が蓄積されています。今年度、若手会員から

京都支部の活動状況

京都支部長 中 川 慶 子

現在は会員45名です。若干の減少傾向は否めませんが、嬉しいことに、24年度は大学女性協会守田科学研究奨励賞を受賞された若い新入会員を迎えることができました。

京都支部は、この数年、毎年同じスタイルで例会を定期的に開催していますが、昨年10月20日は例年と違って、大阪、神戸、奈良、福井、京都の5支部共催で合同例会を京都で開催いたしました。普段の倍以上の51名が集うにぎやかな会になりました。講師には、前大学女性協会会長青木裕子先生をお迎えし、先生の近著「私の中のアメリカ」の出版に際して

伝えたいメッセージ」をテーマに興味深いお話をいただきました。そのあと5支部の活動報告や会員の高齢化と減少など互いの共通課題について話し合いました。今後も合同例会をやっていくことを確認し、会場を移して懇親会をさらに盛り上げました。このきっかけは、春の総会（本部）時に隣り合わせに座った支部長の雑談から始まったものです。



2012年10月20日大阪・神戸・奈良・福井・京都5支部合同例会懇親会会場（京都）にて



川柳と煎茶で寿ぐ新年会

編集・冊子化して、支部活動の財産としたいという積極的な活動の申し出があり、支部への熱い思いと新鮮な息吹を感じさせてくれました。会員活用の企画は活気があり、今年度は特に会員増にもつながりました。新年会では「川柳事始め」として会員から指導を受け、みんなで楽しく一句ひねりました。課題は「お正月」、40数句の会員作から互選した佳句をご紹介します。「伊達巻きを手伝う孫の得意顔」

もう一つご紹介いたします。昨年度からフリー・トーキングの会を始めました。どちらかといえば年配の会員を中心に軽いランチをしながら、会の歴史や思い出などを自由に話し合いました。話題は政治、経済、原発問題等々あちこちとびまわりますが、少人数ゆえ、話は深まり、大学女性協会の創生期から関わってこられた方々の誇りと知見の広さを実感しました。

会員を講師にサイエンスカフェ

仙台支部長 谷地森 涼 子

仙台支部では、昨年、市民を対象にサイエンスカフェ「放射線をやさしく科学する」を開催しました。30年ぶりに学校で放射線教育が取り入れられることになり、支部会員の菊地昌枝さん（元東北大学金属材料研究所助教・東北福祉大学特任教授）が中学・高校生のために放射線の特別授業の講師を依頼され、お忙しいとお聞きしました。せっかくなので身近に講師が

おられるのだから私たち親世代も学びたいとサイエンスカフェを企画しました。幸い、せんだい男女共同参画財団の市民企画支援事業として認められ、平成24年11月14日、エル・ソーラ仙台大研修室で行いましたが、男性も含めて50名近い市民が参加しました。何しろ、東日本大震災から2年になろうとしている今もお、毎日の新聞紙面に放射線に関するニュースが途絶えたことはいくらも、私達の生活で放射能は大きな関心を集めています。この日、東京からJAUW広報委員長の端本和子さん、秋田支部から川口百合子さん、川上弘子さんも遠いところをご出席く

福岡支部だより

福岡支部長 和 栗 方 子

例年4月支部総会に始まって年3回の公開講演会、秋には日帰りツアー、新年会と続きます。その他にも福岡市の他の婦人団体との交流会、県・市の暴力追放推進会議にも代表が出席します。多方面に人材豊富ですので講演会の講師も支部会員で賄えるのですが、年1回は外部から講師をお招きします。

本部教育委員会が実施する協働研究「家庭教育における男女平等教育の現状」に参加し、2012年10月のシンポジウムでは相良かおる会員がパネリストとして活躍されました。今年の新年会には本部の一般奨学生として採用された九州大学大学院工学府水素エネルギーシステム専攻の水谷千晶さんをお招きし、表彰状と奨学金を贈呈しお祝いした後、研究中の水素エネルギーについて最先端のお話を伺うことができました。

支部会員が一堂に会するのは年6、7回、その他に随時役員会も開くなど順調に活動しています。講演会の質疑応答の時間等話が広がって親睦を重ね



2013年1月26日開催の新年会



講演をする菊地昌枝会員

菊地講師は、セシウム、カリウムなど放射線を出す元素の話から始まって、レントゲンやキュリー夫妻による放射線に関する研究の歴史のエピソードなども織り交ぜながら、放射線についての科学的知識を分かりやすく解説してくださいました。合間にコーヒータイムも取り入れ、和やかな雰囲気の中で講義が行われました。最後に、「正しい知識を持って正しく恐れる」と締めくくられました。講演終了後の会員交流会では、昼食を一緒にしながら歓談しました。端本様、川口様、川上様、ご出席いただき、心より感謝申し上げます。

例会を楽しみに集まっています。今後は輪を広げて近隣支部との交流を進めていきたいと思います。

文化交流委員会報告

文化交流委員会 委員長 堀 美知子

新たに発足した文化交流委員会の規程「主催事業は、支部からの申し出があれば、1年に1回は地方で開催することが出来る」に沿った結果、神戸支部担当の活動が実施されました。委員会発足以前からの文化交流を続けた実績の結果として、新たな方向転換第1号です。

「外国人留学生との文化交流バスツアー」 担当：神戸支部

11月9日（金）に開催いたしました文化交流バスツアーは好天に恵まれ、中国、台湾、フィンランド、ベトナムの4カ国からの留学生16名と会員16名を含む総勢32名で淡路島に行ってきました。最初の目的地は淡路島夢舞台。安藤忠雄の設計で広大な敷地のいたるところに水が流れ、池があり、花がありました。留学生の中には建築設計を専攻している方もおられて大変感激されていました。夢舞台の百段苑は鎮魂のための

花壇とのこと。次に行く北淡震災記念公園の阪神淡路大震災・東日本大震災の犠牲者への鎮魂と説明をうけ、全員哀悼を示しました。最後に淡路人形館で人形の動かし方の説明を受け、「壺坂霊験記」の1幕を観、人形と記念撮影をして留学生も会員の方もニコニコと帰路につきました。結構日本通の留学生もおられました。はじめて観たり、体験したためか興奮状態で、「又開催してください」と留学生や会員の方から熱い要望がありました。神戸支部としては初めての試みでしたが、参加者全員楽しい時間を共有し、留学生と交流できたことに満足した1日でした。



神戸の百段苑を見学する留学生たち

第67回国連総会第3委員会に出席して

鷺見八重子

このたび国連 NGO 国内婦人委員会の推薦により、10月8日（月）から11月8日（木）まで日本政府代表顧問として国連総会第3委員会に出席し、大変貴重な体験をさせていただき感謝しております。この委員会は、経済社会理事会の傘下にある「社会、人道、文化」に関わる諸問題を包括的に議論する場であり、同時並行して開かれている6つの重要な委員会の中でも世界の動向が最もよく分かる面白い委員会とされています。

会議の進行は、議案ごとに、まず国連執行部関連各部署からこの1年間の活動を総括する基調報告がなされ、フロアからの質疑に答える「インタラクティブ・ダイアログ」があります。続いて加盟各国からのステートメントの発表になりますが、私は「社会開発」、「女性の地位向上」、「子どもの権利」、「先住民族の権利」、「人権」の議案について5つのステートメント（各7分ずつ）を読みました。

中でも先住民族（アイヌ）については、基調報告者から「具体的な良いステートメントをありがとう」との言葉をいただきました。また一度だけ「子どもの権利」の質疑応答に参加したのですが「大変良い質問」とのことで、会議後「国連への貢献に感謝する」と〈子どもに対する暴力〉事務総長特別代表パイスさんからペンダントを献上されるうれしい出来事もありました。

女性関係では、事務総長直轄の国連女性機関「UN Women」からブリー事務局長補が、世界の女性が置かれている現状と今後の課題について洞察に富む報告をされました。「世界の女性・女兒の7割がなんらかのセクシュアル・ハラスメントを受けている」という冒頭の指摘からも、今後私たちが取り組むべき課題の一端が窺えます。

折しも11月13日、UN Women のミシェル・バチエレ事務局長（元チリ大統領）が来日され、野田総理や閣僚を訪問、記者会見や講演会で日本への期待や抱負を述べられ、メディアでも大きく報道されました。女性のエンパワメント及びジェンダー平等と並び、「女性と女兒へのあらゆる暴力の根絶」は今年の国連のテーマです。

その関連で、昨年国連総会で決議された「国際女の子デー」（10月11日）の第1回記念日を祝うサイドイベント「早期結婚の廃止」には深い感銘を覚えました。カメルーンの少女（当時15歳）が参加したCSWでのひとつのパネルがきっかけとなったとのこと。「理解ある家族のおかげで早期結婚から逃れて教育を受け、自由に発言できるチャンスにめぐり合い、今がある」と語るファビオラは

なんと輝いていることでしょう。

巨大な組織「国連」は今、財政困難に直面しており、世界に紛争は絶えることなく問題が山積しています。しかし、加盟193国が英知を集め討議する現場の重みを実感し、遠かった国連が身近になりました。世界の中の日本の立場を見据えつつ皆様と共に活動したいと念じております。



総会場でアンドレアさんと

第3委員会とは？

第3委員会は、国連総会を補助する6つの主要委員会の1つです。国連執行部と加盟193か国がこぞって「平和、開発、平等」を目指し、英知を集めて「社会・人道・文化」にかかわる議案をめぐり、良き施策を披歴し討議する大きな「晴れの舞台」と言えましょう。

日本が国連に加盟したのは1956年12月18日のこと。その翌年、日本が初めて参加した第12回国連総会から早速、第3委員会へ民間からの女性を1人、日本政府代表代理として送り出すことになりました。当時衆議院議員であった市川房枝の尽力により実現した制度で、藤田たき（労働省婦人少年局長、1961年津田塾大学学長）が初回から3回連続して代表を務めています。

以来、このポストは今日まで引き継がれ、やはり市川房枝が中心となって創設した国連NGO国内婦人委員会が母体となり代表を推薦してきました。1968年の代表代理緒方貞子氏は、市川房枝の熱意に押され、「小学1年生と1歳の子どもを実家に預け、第23回国連総会に3か月間初めて出かけることにしました」と、市川房枝財団創立50周年記念の基調講演で語っておられます。

大学女性協会からも歴代の会長、監事らが代表代理として参画されました。中村道子氏（34、35回）、山崎倫子氏（37、38、39回）、伊東すみ子氏（40、41、42回）、野瀬久美子氏（43、44回）、青木怜子氏（47、48回）、房野桂氏（57、58回）、そしてこのたび不肖ながら鷺見が第67回の代表顧問を務めさせて頂いた次第です。

国連NGO国内婦人委員会

五十嵐康子

1957年、国連に諮問的地位を持つ国際組織の女性団体に所属している日本の女性団体が国連NGO国内婦人委員会を結成しました。国連憲章の目的実現のため、女性の立場から、国連及び関係諸機関に協力すること、国連への理解の啓発宣伝につとめることを活動の目的としています。

この委員会（現在9団体及び個人）は、国連総会の日本政府代表団に民間女性を推薦し、1957年以来、毎年送り出しています。その実績が初の国連代表部女性公使（1976年緒方貞子氏）誕生の背景となりました。

2012年の国連総会第3委員会（社会・人道・文化）には大学女性協会の鷺見八重子氏を送り出し、日本を代表して10の内、5つのステートメントを読み上げ、高

い評価を得ました。

この委員会は経済社会理事会の権限事項である特定の分野について次のグループに分かれて活動しています。★カテゴリーI（一般協議資格）経社理の活動の大半に関心ある団体。【有権者同盟・BPW】★カテゴリーII（特別協議資格）【大学女性協会・汎太平洋東南アジア婦人協会・女性法律家協会・女医会・YWCA・婦人国際自由平和連盟】★ロースター 必要に応じて経社理及びその他の国連機関に対し貢献しうる機関。【看護協会】

この委員会のもう一つの事業は1996年から始まった外務省主催「日本・アラブ女性交流」への協力です。所属団体が回り持ちで担当し、2005～6年にはJAUWが担当、「女性のエンパワメントに向けて一技術職業教育」のテーマで活動しました。

国連婦人の地位委員会(CSW)

田中正子

CSWとは

CSW（Commission on the Status of Women：国連婦人の地位委員会）は、国連経済社会理事会（ECOSOC）の機能委員会の一つで、1946年にECOSOCの決議によって設立されました。委員国は45か国で、日本はCSWの歴史で委員国から外れたのは2年ほどで、ずっと委員国に選ばれています。CSWは毎年3月初めの2週間、国連本部で開かれ、そこで行われた女性の地位向上に関する評価と勧告をECOSOCに報告し、それは最終的に国連総会に報告されます。

CSWは、1975年の第1回から1995年の第4回の世界女性会議（北京会議）の運営に重要な役割を果たし、以後北京行動綱領の12の重点領域および第23回特別総会の成果文書のフォローアップを組織的に行っています。毎年「優先テーマ」のほかに、以前に採択された合意結論を「見なおしテーマ」として設定し、進捗状況の評価を行っています。今年の第57回CSWの優先テーマは「女性と女兒に対するあらゆる形態の暴力の根絶と防止」です。

房野桂さんの国連文書の翻訳

毎年CSW（国連婦人の地位委員会）が近づくと房野さんの翻訳になる「CSW

公式文書」のお世話になる人が多いようです。会議日程や、その年の優先テーマに関する会議前の専門家パネルや調査報告などが事務総長報告書等として1月半ばごろから、次々に国連のCSWホームページにポストされるのをダウンロードして翻訳されています。ページ数にして多い年で100ページぐらいになります。CSWの会期が終了すると、今度は、会議中のパネルの議長または司会者による概要、決議・決定及び合意結論の翻訳が「CSW記録」として提供されます。特に「決議」「合意結論」等の成果文書は、外務省の仮訳が出るのは半年後ですが、房野さんの翻訳のおかげで、私どもはCSW終了後1か月で和訳を手にすることができます。

房野さんのCSW関係の文書の翻訳は10年ぐらい前から続けられていますが、国連文書の翻訳はこれにとどまりません。国連総会第3委員会公式文書及び記録、人権理事会記録、及び第2回高齢者問題世界会議やダーバン会議（人種主義・人種差別・外国人排斥・関連する不寛容に反対する世界会議）のような主要国連会議と首脳会合の成果文書や女性・平和・安全保障に関する安保理決議も翻訳されています。その他まだまだありますが、紙面の都合で省略します。これら、全ての翻訳活動の原点は無償のボランティア活動です。

IFUWの活動紹介

会報247号でもご紹介したように、IFUWでは2012-15年戦略計画の中で6つの戦略目標を掲げ、IFUWの使命を果たすための幅広い長期目標としています。IFUW Update 2012年12月20日号では、下記のように、役員会から戦略目標の実施状況を報告しています。

【目標1：女兒と女性が良質の教育を受ける権利】

国連の各部門との協働に加えて、IFUWはCSW2013へ女性と女兒への暴力に関するステートメントを提出し、女性がジェンダーをもとにした暴力に苦しむことのないようにするための中高等教育の重要性を強調した。

(ステートメントは<http://www.ifuw.org/what/advocacy/advocacy-news/>)

【目標2：公共分野で女性の存在感を高めること】

EU委員会に提出した、2020年までに女性が企業の取締役会の40%を代表するよう規定を設ける提案に続いて、企業が女性を登用しやすいようにGlobal Board Ready Women Databaseが作成された。このデータベースに参加希望があれば、アン・ネグレIFUW副会長 (anne.negre@orange.fr.) へメールで連絡してください。目標2については2012年10月24日のIFUW Updateにも詳しく掲載されている。

【目標3：女兒と女性の人権確保】

国連の人権委員会およびCSWなどを通して、国連代表は、女性差別の撤廃に関する条約および人権教育について注意深く見守り、各協会を支援してきた。ニューヨーク、ジュネーブの国連代表の働きと若年層雇用への重要な介入を行ったILO総会において、私たちの代表はウィーンの国連およびパリのユネスコで非常に活発に活動した。

【目標4：IFUWのアイデンティティの強化と会員の動員】

この目標については、他の活動に付随してくるため意図的に行動を控えてきた。しかしながら、会員の支援および動員の改善については検討していて、2012年の延長線上で1月に各協会にアンケート調査を送り、IFUWがどのように各協会に恩恵をもたらすことができるかを探る。

【目標5：効率的なリーダーシップ、管理運営、組織構造】

新執行理事Daniele Castleとスタッフを採用したのと共に、役員会および委員会の各役職の基準を再定義し、見直しを行った上で8月のIFUW総会において提案を検討することにしたい。また外部コンサルタントに依頼してウェブサイト新しいサーバーに移動すると共に、マイクロソフト・オフィス365を事務所で使用し始め、業務作業の効率化を図っている。

【目標6：持続可能な財政と資金調達】

財務理事および財務補佐により最新の財務状況が確認され、戦略的な決定を行う基盤ができた。一方、執行理事が事務所を将来どこに置くかの業務選択を提示し、持続可能な将来構想を理事会で検討した上で、総会の討議に諮ることになる。

このように、IFUWでは戦略目標に沿った形で実際の活動や業務が行われています。JAUWでもIFUWのアンケート調査に回答していますが、IFUWの戦略目標を当てはめて活動や業務を見直していくことが求められています。

IFUWイスタンブール総会 (2013年8月16日~21日)のご案内

テーマ：持続可能な未来のための女性の役割~教育、都市化、暴力と人権
主会場：Kadir Has大学 (旧市街・アタテュルク橋北西、金角湾沿い)
※総会案内のページ (英語) <http://www.ifuw2013istanbul.org/en/>

〈仮日程表〉

	午前9:00-12:30	昼	午後14:30-18:00	夕
15木	登録/役員会/会員委/研修オリエンテーション	研修者ランチ/役員会・会員委ランチ	登録/役員会/会員委/選挙管理委/研修(リーダーシップとは何か他)	評議員会オリエンテーション
16金	登録/評議員会/全日・半日ツアー	評議員ランチ/委員会選挙	登録/評議員会/一般オリエンテーション/ツアー	歓迎会と開会式@ボスフォラス大学
17土	登録/全体会1(会長挨拶他)/本会議1/全体会2(戦略計画紹介・IFUWの未来を語る他)/ヘッグ・ホフェットくじ(会期中毎日)	決議案自由討議/定款自由討議/若手会員ランチ/役員選挙	登録/本会議2/全体会3(国連代表による発表)/委員会選挙/ツアー:トルコ料理実演、旋回舞踊(セマー)、イスラム美術館キリム作家のガイド付き等	決議案・定款自由討議/IDセミナー座長、ワークショップリーダー研修/新加盟協会歓迎会/トルコ協会引率による個別外出
18日	登録/本会議3	地域会合/各委員会	登録/本会議4(定款改定案・決議採決)/全体会4(ヘッグ・ホフェット報告)	トルコの夕べ
19月	登録/テーマ別パネル討議/IDセミナー/模擬裁判	新旧役員ランチ	登録/ワークショップ/ツアー:女性研修センター他/模擬裁判/研修(メンタリング他)	Fellowships デイナール~ボスフォラス海峡を望み
20火	登録/テーマ別パネル討議/IDセミナー	若手会員ランチ/NFA会長・CIRランチ	登録/ワークショップ/ツアー:裁判所・弁護士会/研修(発表のコツ他16:30-)	VGIF/IFUWプロジェクト
21水	本会議5/全体会5(戦略計画発表他)/全日・半日ツアー	新評議員ランチ	評議員会/研修(モニターと評価、個別発表)	ガラディナー

IFUWイスタンブール総会2013

3年に1度のIFUW総会が、今年の8月16日から21日まで、トルコのイスタンブールで開催されます。主会場はKadir Has大学。仮日程はIFUWのHPにも掲載されていますが(日程表参照)、多くの方にIFUWの総会に参加していただきたいと考えています。登録などに関しては追ってお知らせいたします。

ツアーについては、IFUWでも主に市内の研修を中心に用意していますが、JAUWとしても、会期中を含め、観光ツアーをトルコの現地事情に詳しいタビックスジャパンに提案してもらいました。ツアーは21日夕方にカッパドキアへ移動します。ガラディナーが最終日21日の夜開催される予定ですが、18日の夜にトルコの夕べがありますので、そこで十分に友好を温め、交流に努めていただけます。詳細は同封のチラシをご参照ください。

ツアーの参加を希望する方は申し込み用紙に必要事項を記入し、本部事務所に申し込みをして下さい。

第9回UWA総会報告

近藤 みち子

総会は、2012年11月16日から18日の3日間、タイ国バンコク市チュラロンコーン大学にて、「平和構築における女性の役割」をテーマに、タイ大学女性協会主催で開催された。IFUW会長マリアン・ハッセルグレーヴとインド、日本、シンガポール、ニュージーランド、タイからの45名が参加した。

初日、IFUW会長は開会式の挨拶の中で、平和のための活動はIFUWの目的のひとつであり、教育が重要であると述べた。午後各国報告において、日本は支部とJAUWのそれぞれの活動、男女共同参画の進捗状況について3人で分担して報告した。2日目、「女性に対する暴力」がテーマのパネルディスカッションでは、タイにおける家庭内暴力が取り上げられ、ここでも教育の必要性が訴えられた。3日目午前、UWA評議会、午後ペーパー発表。穂田さんが福島について発表した。8分と制限された発表に、もっと聞きたかったとの声が多数あった。



UWA 会議場にて



トルコイスタンブール

事業委員会主催企画

支部交流 ―長崎支部訪問の旅―

長崎支部長 梅田和子

平成24年11月26日から28日まで長崎支部訪問の旅、オプショナルで29日から五島の旅が行われた。参加者は9支部28名でした。

初日空港に羽田、伊丹からの参加者を迎え、バスで史料亭花月に向かう。花月の坂本龍馬がつけた刀傷の痕が残る「竜の間」で花御膳のお昼をいただきますながら、手入れが行き届いた庭を眺め、しばし昔の長崎を偲ぶ。

その後三菱重工長崎造船所の史料館、原爆資料館、二六聖人殉教の地を訪ね、懇親会場でもあるホテルに向かう。世界新三大夜景に選ばれた稲佐山からの眺めを楽しみながら、支部会員8名の出席を得、自己紹介を交えながら、懇親会が開催された。

翌日は孔子廟、グラバー邸、大浦天主堂の観光、ちゃんぽん発祥の「四海楼」で昼食、佐世保へ。支部会員一人も駆けつけ、九十九島観光遊覧船で島巡り、美しい海に感動。

2日目の宿は平戸彩月庵、全室岩風呂の温泉が付いている。全室部屋タイプが異なるため、みなさん昔に戻って、修学旅行生のように部屋見学ツアーを・・・楽しみました。

夕食は豪華なお魚料理が並び、大きなヒラメは最後は骨せんべいに・・・会話が弾みました。

最終日は隠れキリシタンとクジラの島、生月へ。平戸では松浦史料博物館とザビエル記念教会を見学、旅の終わりを迎えた。

天候にも恵まれ、また勉強家のガイドさんの心のこもった説明も旅を楽しくしてくれました。

五島の旅は教会巡りのツアー、ガイドさんの好意で映画「悪人」の舞台となった大瀬崎灯台などの観光地の見学もでき、民家のよくな小さな教会に心が洗われる一泊二日の旅であった。

本部と支部の交流の楽しさを感じた長崎の旅となりました。



平戸の宿、彩月庵にて



グラバー園にて

新春のつどい

福井支部 山田由美

再会 勇気 感動そして感謝

こんにちは、お久しぶりです、お元気でしたか、親睦旅行の折には北陸までようこそ、あら、青木先生のお隣の席だわ、わあ感激など、あちこちのテーブルを回っているうちに、司会の方の開会を告げる声が聞こえました。

1月12日(土)新宿京王プラザホテルで開かれた新春のつどいは、国内奨学金贈呈式に移ると、華やかな中にも厳粛な雰囲気があります。

阿部幸子会長から賞状と奨学金を受け取られた奨学生の皆さんは、ちよつと緊張しながらも、自信に満ちて誇らしげでした。

いろいろな困難もあったでしょうが、ご自分でテーマを見つけ、こつこつと研究に取り組んでいらしたことに、勇気をいただいた気がしました。

スピーチも、堂々と、分りやすく楽しく話され、それぞれのテーマについて、もつと極めたいもつと深めたいという思いが伝わってきます。自分自身の若い頃を振り返ってみるとこんなにも真剣にものごとに取り組むことがあったらどうかと、皆さんの姿勢に胸が熱くなりました。

第2部の懇親会は一転、華やかな中国音楽で始めました。二胡・揚琴(ヤンチン)・歌というアンサンブル。すてきな音楽に耳を傾けながらも、私の眼は、初めて見た楊琴にきぎ付け。金属製の弦を木製のバチでたたいて音を出す打楽器で、チェンバロのような音が魅力的。ちよつとさわってみたいかったです。

同じテーブルでお食事を楽しんだのは「聖コロンバンの会のアジア認識」と題した研究に取り組むホームズ奨学生の方。アイルランドについてのお話は、的確な質問もあって、いろいろと発展していききましたが、JAUWの会員として、こうした若い方たちを支援することで、国内だけではなく世界と繋がっていると感じられ、そのご縁に感謝した1日でした。



アンサンブル「ジャズミン」

第11回自然科学講演会報告

メタボリックシンドロームと高血圧 ―そのメカニズムに迫る―

東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科特任助教 第14回守田科学研究奨励賞受賞者 藤田 恵

2012年12月15日(土) お茶の水女子大学にて【共催】科学研究奨励委員会 東京支部 お茶の水女子大学理学部

恒例の自然科学講演会が12月15日、2012年度第14回守田科学研究奨励賞受賞者の藤田恵会員(東京大学医学部附属病院特任助教)を講師に招いて、お茶の水女子大学理学部との共催で行われた。藤田会員は、東京大学医学部医学科を1997年に卒業後、東京大学医学部附属病院第四内科の医員を経て、2006年からは同病棟の腎臓・内分泌内科、分子循環代謝病講座の特任助教として勤務されている。2004年に東京大学にて博士号(医学)を取得された。大学においては臨床・研究・教育を行う立場であり、大学病院での所属講座の役割や日々の仕事の様子が紹介された後、研究内容の説明が行われた。メタボリックシンドローム(メタボ)は、おなかの内臓の周りに脂肪がついてしまう肥満(内臓型肥満)に加えて、高血糖・脂質代謝異常・高血圧のうちの2つ以上の症状が起きている状態である。メタボでは特に高血圧を発症している場合が多いため、その対策は重要である。藤田会員は既報の背景に基づき、肥満に伴う高血圧症の患者では、交感神経活性化と脳内酸化ストレス増大の間に相関があることが示唆される、と捉えた。そこで、高脂肪食を与えることで内臓肥満と高血圧を引き起こしたラットや、遺伝的にメタボになっている系統のラット、あるいは高濃度の食塩を与えることで慢性腎臓病になったラットを用いて確かめた。すなわち、脳内の酸化ストレスが増大し、そのために交感神経の働きが強まり血圧が上昇する、という機構を明らかにし、講演ではその過程が見事に示された。肥満が酸化ストレス増大につながる仕組みなど、研究内容についての質問のほか、メタボは身近な疾病であることを



講演をする藤田恵さん

(科学研究奨励委員 浜崎 浩子)

新入会員

(理事会承認) 2012年8月~12月

- | | |
|--------|-------|
| 茨城支部 | 愛知支部 |
| 梶塚 幸子 | 高橋 久子 |
| 東京支部 | 大阪支部 |
| 進士 多佳子 | 中村 茂子 |
| 渡部 徳子 | 岡山支部 |
| 神奈川支部 | 寺田 和子 |
| 河野 典子 | |

第15回大学女性協会 守田科学研究奨励賞贈呈式ご案内

第15回賞贈呈式および祝賀パーティーを開催いたしますので、多数ご出席いただきたくご案内申し上げます。

日時 2013年5月25日(土)

贈呈式・受賞者講演 13時~14時30分

祝賀パーティー 14時40分~16時

場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921
JR、営団地下鉄、都営地下鉄「市ヶ谷駅」より徒歩3分

会費 2,500円

申込先 (一社)大学女性協会事務所
TEL 03-3358-2882
Fax 03-3358-2889

JAUW主催コンサートのお知らせ 「風のとおり道~フルーツとピアノの情景~」

〈予定曲〉

ビゼー：アルルの女よりメヌエット

モーツァルト：アンダンテ

ドビュッシー：夢

チャミナード：コンチェルティーノ ほか

フルーツ ♪ 高広幸子 ピアノ ♪ 野間春美

日時：6月15日(土) 開場14:00 開演14:30

場所：求道会館 全自由席 3,500円(学生2,000円)

(地下鉄南北線「東大前」地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅下車)

申し込みはJAUW事務所まで

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

《理事会から》

- 2013年度全国セミナーの開催日時・場所が決まりました。開催日：2013年10月26(土)・27日(日) 会場：「ピュアリティまきび」(岡山市)
- JAUWからのCSW57(2013年3月4日~15日、NY)参加者は鷲見理事、城倉理事、田中麻子氏(大学院博士課程)の3名。このうちの2名(城倉理事、田中氏)は、人材育成事業の国際会議参加支援者に決定しています。CSW報告会は3月23日(土)、本部事務所で開催。

役員選考委員会について

「役員選考委員会に関する規程」第1条第1項に基づき、理事会は2012年度・2013年度の役員選考委員を選出し、下記の7名の方々に委嘱いたしました。なお委員長は同上第2項により互選で決定しております。11月末発行の会報に推薦依頼状を同封予定です。

- 役員選考委員(敬称略)
- | | | |
|--------|-------|-------|
| 委員長 | 時枝 裕子 | |
| 委員(書記) | 早瀬 暢子 | 橋本 慶子 |
| (会計) | 秋月 薫 | 堀 美知子 |
| | 林 恭子 | 田辺 光子 |

2012年度国際奨学生の研究報告会

国際奨学委員会と東京支部は、今年度の2人の国際奨学生、エレナ・ギナチュリナさん(ウズベキスタン)とナランハジット・ミヤダグスレンさん(モンゴル)による研究報告会を下記のとおり開催します。

日時：2013年3月16日(土) 午後1時半~4時半

会場：アルカディア市ヶ谷

会費：1,000円、昼食会：3,000円(午後12時~)

申込：3月12日(火)までにJAUW事務所に申し込んでください。

*昼食会にも是非ご参加ください。

国際奨学委員長 廣田里子
東京支部長 小澤紀子